

みどり
水土里ネット香川

香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<https://www.midorinet-kagawa.or.jp>

2026 初春号



目 次

1. 新年のご挨拶 香川県土地改良事業団体連合会 会長 宮本欣貞	3
全国土地改良事業団体連合会 会長 二階俊博	4
都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問	
参議院議員 進藤金日子	5
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 所長 村下秀文	6
香川県農政水産部 部長 桑原 仁	7
香川県農政水産部土地改良課 課長 松平和也	8
香川県農政水産部農村整備課 課長 井上一夫	9
2. 農業農村整備の集い開催	10
3. 令和8年度農業農村整備予算の確保・拡大について	
農林水産省並びに県選出国会議員に要望	11
4. 第47回全国土地改良大会佐賀大会開催	12~13
5. 第2回監事会開催／第204回理事会開催	14
6. 令和7年度土地改良区役職員研修会開催	15
7. 農業農村整備関係の令和7年度補正予算及び令和8年度予算の概算決定	16~17
8. 中讃管内土地改良事業研修会及び土地改良相談開催	18
9. 大川地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談開催	19
10. 農業農村整備に関する予算説明会開催／	
香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会開催	20
11. 令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修開催	21
12. つながる、広がる、農業農村の力。男女共同参画推進大会inくまもと	22
13. かがわ水土里ネット女性の会研修会開催／土地改良換地士資格試験合格	23
14. 会と催し	24



新年のご挨拶

香川県土地改良事業団体連合会

会長 宮本 欣貞

明けましておめでとうございます。

会員各位をはじめ、農業農村整備事業関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本会の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的に記録的な猛暑と少雨に見舞われた夏で、香川県においても例年にない早い梅雨明けとなり、県内のため池の平均貯水率も平年値を大きく下回りました。これらの降雨や水源の状況を踏まえ、県では干害応急対策事業が実施され、改めて水の大切さや香川用水のありがたさを実感したところでございます。

一方、瀬戸内の島々を舞台に3年に1度開催される現代アートの祭典、瀬戸内国際芸術祭が開催され、大阪・関西万博の開催も相まって、約100日間に100万人を超える人々が国内外から香川県を訪れました。また、12月には昨年2月に開館したあなぶきアリーナがユネスコの「世界の美しい建築」を表彰する「ベルサイユ賞」の2025年スポーツ部門で国内初となる最優秀賞に選ばれるなど、香川県の芸術・文化、瀬戸内の自然やアートの魅力が世界に発信された年でした。

こうした中、昨年7月20日に参議院選挙が行われ、その後、開催された国会において女性初となる高市新総理が誕生しました。この内閣で12月26日に閣議決定された令和8年度政府予算案においては、農業競争力強化や国土強靭化を計画的に推進するための農業農村整備事業関係予算は4,504億円、令和7年度の補正予算と合わせて6,942億円と、厳しい予算折衝の中で前年を上回る予算となっています。

また、改正後の『食料・農業・農村基本法』の方向性に即した農業生産基盤の整備及び保全」を適切に実施するため、土地改良法が昨年の4月に改正され施行され、地域の農業水利施設等の保全に関する措置として、基幹から末端までの農業水利施設等の保全を地域の関係者が連携して取り組めるよう、関係者が議論する枠組みとともに、連携管理保全計画（通称 水土里ビジョン）を土地改良区が策定できる仕組みが設けられました。そして、この計画の策定支援として1ビジョンあたり上限300万円の策定補助や、計画に基づく取組が円滑に進むよう土地改良区の合併手続きの簡素化などの法律上の制度措置、土地改良施設維持管理適正化事業における補助率の引き上げなどの予算面での支援策、また農業農村整備事業等の新規地区採択に当たっての優先配慮措置が用意されています。

農村においては農業集落の小規模化・高齢化に伴い地域住民による農業水利施設の維持管理活動が困難となる傾向であるとともに土地改良区においては専任職員不在のところもあり、施設の管理などの役割を十分に果たせなくなる恐れがあります。このため今後は、地域の農業水利施設等を適切に保全していくための、連携管理保全計画の積極的な策定をお願いします。

本会といたしましては、土地改良区による農業水利施設の更新・維持管理などの農業生産基盤の整備を図るため、更に皆様方と一緒に闘っていくことが極めて重要であると認識しており、会員及び関係者の皆様方とともに各種事業の着実な推進に努めてまいる所存でありますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、皆様方のより一層のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭あいさつ

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階俊博

令和8年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業農村整備事業の推進に対し、関係各位の格別の御理解と御支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で記録的な猛暑や集中豪雨など、気候変動の影響が一段と顕著となり、皆様の地域にも大きな影響を及ぼしたのではないかと存じます。

豪雨等により被害を受けられた地域の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

いま、国際社会は、地球規模で頻発する異常気象や世界的な物価高騰などの諸問題に直面しています。一方、我が国の農業・農村は、農業者の高齢化や減少により、農業の継続やそれを支える農地や農業用水の保全管理が困難になるなどの課題を抱えるなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。

これらの様々な問題の解決のために、食料・農業・農村基本法や土地改良法の改正が行われ、そして、新たに策定された土地改良長期計画に基づき、令和7年度から11年度までの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとなりました。

競争力のある農業を支える「大区画ほ場整備」や「スマート農業に対応した基盤整備」、また、「中山間地域におけるきめ細かな整備」をスピード感を持って進めていかなければなりません。

本年の干支は「午」であります、"前進" "飛躍" の年とされています。まさに地域農業が新たな局面へ踏み出す一年となりますことを願うところであります。

令和8年度農業農村整備事業関係予算 政府原案においては、農業構造改革を集中的に進めるため、4,504億円が計上され、令和7年度補正予算を加えると6,942億円となります。

皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかにお過ごしになられますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



新年にあたって

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 進藤金日子

あけましておめでとうございます。香川県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動をご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、昨年は、農政、国土強靭化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靭化実施中期計画も策定されました。10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靭化計画（通称サナエノミクス）が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

3月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保全管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

6月には第一次国土強靭化実施中期計画が策定され、令和8年度から令和12年度に推進が特に必要となる施策目標を設定、5年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目指しました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靭化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間では別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円（昨年比442億円増）となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力を願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。



新年のご挨拶

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所
所長 村下秀文

新年明けましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から香川県内の農業農村整備事業へのご理解とご協力、また、農業・農村振興へご尽力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

四国土地改良調査管理事務所は、現在、丸亀市飯山町に本所、坂出市に分室、愛媛県松山市に支所を置き、四国管内における①国営土地改良事業の実施に関する調査計画（地区調査、全体実施設計等）、②国営土地改良事業によって造成された施設の管理に必要な調査・調整（ストックマネジメント、流域治水等）、③農業水利施設等に関する情報管理・分析（水利権更新等）などの業務を行い、管内の国営事業地区に対し将来にわたってフォローアップを続けていく役割を担っています。

さて、令和7年12月26日に閣議決定されました令和8年度農林水産関係予算については、対前年度比101.1%の22,956億円が計上されています。そのうち、農業農村整備事業関係予算は4,504億円、令和7年度補正予算（防災・減災、国土強靭化、構造転換集中対策等）2,439億円と合わせ6,942億円が確保される見込みとなっています。農地の集積・集約や担い手の確保などの施策とも連携しながら、これらの予算を計画的、効率的に活用することにより、重要なかつ緊急の課題への効果的な対策につながるものと考えられます。

また、令和6年5月に「食料・農業・農村基本法」が四半世紀ぶりに改正され、「食料安全保障の抜本的強化」、「環境との調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における農業生産の維持・発展と農村のコミュニティの維持」の実現を目指し、基本理念の見直しと、関連する基本的施策等が定められました。令和7年4月には、新たな「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定されました。本基本計画は、改正基本法に掲げた理念の実現に向け、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進められるよう、我が国の食料・農業・農村を維持・発展させるための施策の方向性を具体化したものです。さらに同年4月には、「土地改良法等の一部を改正する法律」が施行されています。本改正では、農村人口及び農業者の減少が進む中、土地改良施設の老朽化並びに自然災害の激甚化及び頻発化に対応して、土地改良施設の保全等を図るため、「申請によらない国等による基幹的な農業水利施設の更新事業の創設」、「土地改良区が市町村等地域の関係者と連携して行う土地改良施設及び末端施設の保全に係る制度の創設」、「急施の土地改良事業への再度災害及び老朽化による事故を防止するための事業の追加」等が行われました。これらの動きを踏まえ、同年9月には、本来の計画期間を一年間前倒して、新たな「土地改良長期計画」が閣議決定されています。同計画では、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」と題し、令和7年度から11年度までに取り組む土地改良における政策課題、政策目標、施策の成果目標及び事業量が定められています。

当事務所としましても、これら基本法、基本計画、改正土地改良法及び新たな土地改良長期計画に基づく、各種施策の具体化の動きを注視しながら、土地改良区はじめ地域の関係者の皆様と連携し、前歴事業を通じて築かれてきた四国地域の農業・農村を守り、さらに次世代への継承に向けた取り組みを進めてまいります。

今後とも引き続き、事業の調査・計画、管理段階からの皆様のご支援ご協力を願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

香川県農政水産部

部長 桑原 仁

令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備の推進はもとより、県政各般にわたり格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、国では昨年4月に、食料・農業・農村基本法の改正後初の「食料・農業・農村基本計画」が策定されました。本計画では、平時からの食料安全保障を確保し、様々な環境の変化に対応するため、施策の方向性が具体化されており、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進めることとしております。このため、今回、初めて食料自給率以外にも、農地の確保や生産性の向上、多面的機能の発揮等について具体的な目標・KPIが設定され、毎年検討を行うことでP D C Aサイクルによる施策の見直しを行うこととしております。

こうした中、県においては、社会情勢の変化や国の施策を踏まえつつ、令和8年度からの次期「香川県農業・農村基本計画」の策定に向けて作業を進めているところです。次期計画においては、農業・農村に関わる全ての人々が活躍し、本県農業・農村を次世代に継承していくため「かがわの農業・農村の未来を拓き、次世代へ継承」を基本目標に掲げ、「攻め」の施策では、生産性を高める基盤整備の促進や担い手への農地集積・集約化と優良農地の確保、また「守り」の施策では、農業水利施設やため池など農業生産基盤の保全管理と防災・減災対策、多面的機能の発揮、関係人口の拡大などによる農村の振興などの各種施策の展開に、農業者はもとより、市町、香川県土地改良事業団体連合会をはじめとする関係機関等と一体となって取り組み、基本目標の実現を目指してまいりたいと考えております。

特に、農業生産基盤の整備にあたっては、多様な地域のニーズに対応したほ場整備や区画統合などの簡易な整備、田んぼダムによる流域治水対策、老朽化が進行している基幹的な農業水利施設の補修整備などについても推進してまいります。

また、ため池については、「老朽ため池整備促進計画（第12次5か年計画）」に基づき、劣化が進行した防災重点農業用ため池の計画的かつ集中的な防災対策を進めるとともに、「香川ため池保全管理サポートセンター」を活用したため池の監視・管理体制の強化に向けた取組みを通じて、ため池災害の未然防止に努めてまいります。

これらの事業を円滑に推進するためには、貴連合会の皆様方の一層のご支援、ご協力が重要になりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、会員皆様方にとりまして、本年が希望に満ちた明るい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部土地改良課
課長 松平和也

明けましておめでとうございます。日頃、宮本会長をはじめ会員の皆様方におかれましては、県行政に対する御理解、御協力を賜り、とりわけ農業農村整備事業の推進に御尽力をいただいていることに厚く御礼申し上げます。

さて、国においては昨年9月に新たな土地改良長期計画が策定され、4つの政策課題「生産性向上等に向けた生産基盤の強化」「農業用水の安定供給及び良好な排水条件の確保」「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靭化」「農村の価値や魅力の創出」に対する政策目標を掲げ、生産性の向上を通じた食料自給力の確保等に向け、農業構造転換集中対策期間において実施する具体的な施策が位置づけられたところです。さらに、昨年6月には、国土強靭化実施中期計画が閣議決定されており、防災重点農業用ため池の整備や農業水利施設の保全等の取り組みを推進することとしています。

これらを受け、令和8年度政府当初予算の農業農村整備事業関係予算案では、農業の構造転換や国土強靭化等を図るため4,504億円（対前年度比100.9%）が決定され、令和7年度補正予算を含めると6,942億円（対前年度比106.8%）が予算計上され、本県の多様なニーズに対応したほ場整備などの生産基盤整備やため池の防災・減災対策、基幹水利施設の長寿命化対策、中山間地域の活性化対策などの農業農村整備を積極的に推進できるところです。

特に、ため池の防災・減災対策については、「老朽ため池整備促進計画（第12次5か年計画）」に基づき、老朽度が高い防災重点農業用ため池から計画的かつ集中的に整備を実施しており、このハード整備を補完するため、貴連合会を運営主体とする「香川ため池保全管理サポートセンター」による現地パトロールやため池管理者への助言・指導によって適正管理を支援し、ため池の安全確保を図ってまいります。

また、ほ場整備などの基盤整備については、担い手へ農地を集積・集約化するため、畦畔除去や耕作道の整備など、換地を伴わない簡易な基盤整備も行い、農地の形状を活かした一定規模の優良農地の確保を加速化していきたいと考えております。

さらに、農業水利施設については、近年、農業者の大幅な減少や高齢化・混住化の進行等により、農業水利施設の保全管理が困難となることが懸念されており、県としても、土地改良区等の関係者が共同して将来の保全体制を構築する水土里ビジョンの策定に積極的に参画するなど、地域の実情を踏まえて施設の保全管理に対して支援してまいります。

今後とも、農業の持続的な発展と活力ある農村づくりを目指して、農業農村整備に携わる職員が一丸となって取り組んでまいりますので、会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部農村整備課

課長 井上一夫

新年明けましておめでとうございます。

令和8年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮本会長や三笠副会長、斎藤副会長をはじめ香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進はもとより県政各般にわたり格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり農業・農村は、県民生活にとって不可欠な食料の供給、洪水の防止や水源のかん養、自然環境の保全、美しく安らぎを与える景観の形成などの多面的機能を有しています。しかしながら、農業・農村を取り巻く情勢は、農業者の高齢化の進行に伴う労働力不足や集落機能の低下、肥料価格の高騰、頻発する自然災害などの課題に直面しており、これらの課題に適切に対応することが求められています。

こうした中、国においては、昨年11月21日に、『「強い経済」を実現する総合経済対策』を閣議決定し、その中で、食料安全保障を確保する観点から、改正食料・農業・農村基本法に基づき、農業・畜産業の生産基盤の強化等を着実に実施するため、令和7~11年度の5年間の農業構造転換集中対策期間において、機動的・弾力的な対応により別枠予算を確保することとし、昨年12月16日に、農地の大区画化や中山間地域においてきめ細かな整備等を実施するための、農業・農村整備関係予算として前年度補正予算から402億円の増額となる総額2,439億円の令和7年度補正予算が成立しているところです。

本県におきましても、令和8年度を初年度とする次期「香川県農業・農村基本計画」の策定を進めており、次期計画の施策の方向性として、儲かっている約1割の農家がさらに成長するための生産性を高める基盤整備の推進などの「攻め」の施策を展開するとともに、農業・農村を守っている約9割の農家が、安心して農業を継続できるよう農地・農村環境の持続的な保全管理や農村の活性化などの「守り」の施策を展開することによって、県民への食の安定供給を実現するための施策の展開を検討しているところです。

農村整備課では、貴連合会や市町など関係機関と連携のもと、中山間地域をはじめ、比較的小規模な地域において、地域条件や地域のニーズに即したきめ細やかな生産基盤の整備と生活環境の改善や都市交流の場として必要な施設の整備、農業生産活動の省力化に向けた支援を進めてまいります。

また、「多面的機能支払制度」や「中山間地域等直接支払制度」を活用した農地やため池、水路などの保全管理や周辺環境を保全する共同活動を促進するとともに、組織の広域化や外部組織との連携による組織の体制強化や外部人材との連携を進め、持続的な農業活動による多面的機能の維持・発揮に努めてまいります。

さらに、農村の所得向上と地域の活性化に向けて、農村地域の豊かな自然や農産物を活かし地域が連携した農泊やグリーン・ツーリズムの推進、ソーシャルメディア等を活用した本県農村の魅力やイベントなどの情報を発信し、交流人口・関係人口の拡大を図ってまいりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

農業農村整備の集い開催



11月26日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

この集いには、全国から農業農村整備事業関係者約1,200名が参加し、本県からは、本会の宮本欣貞会長をはじめ、各地区の土地改良協議会会长ら13名が参加した。

主催者を代表して、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長より食料安全保障を確保するためには、農業の構造転換を集中的に進めていくことが重要である。既存の土地改良予算に加え、農地の大区画化や水利施設の整備、中山間地域対策を進めるための別枠予算を確実に確保するため、我々土地改良団体もしっかりと取り組んでいかなくてはならないと挨拶があった。

次に来賓として出席された鈴木憲和農林水産大臣、城内実日本成長戦略担当大臣、森山裕自民党食料安全保障強化本部長、宮下一郎自由民主党総合農林政策調査会長、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会长会議顧問から祝辞が述べられた後、「当初及び補正予算とあらゆる機会



全國土地改良事業団体連合会 二階会長による挨拶



鈴木農林水産大臣による祝辞

において、必要な予算を確保すること」など8項目の要請書が全会一致で採択された。

最後に、全国土地改良大会の次期開催県の水土里ネット奈良の上田美加子理事らにより 1,300 年前から作られている奈良の伝統野菜「大和まな」を片手に令和 8 年度予算確保に向けたガンバロウ三唱を行い、会場は拍手で応えて「農業農村整備の集い」は盛会裏に終了した。



ガンバロウ三唱

令和8年度農業農村整備予算の確保・拡大について 農林水産省並びに県選出国會議員に要望

11月26日、27日、令和8年度農業農村整備事業関係予算の確保に向け、農林水産省並びに県選出国會議員に対して、地域の実情に即した農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、令和8年度予算の十分な確保を行うこと、地域特性を生かした生産基盤整備や老朽化した農業水利施設の長寿命化対策の推進に努めること、「連携管理保全計画（水土里ビジョン）」を策定し農業生産基盤の保全対策を担う土地改良区の強化を行う



とともに、農地や農業用施設の保全管理に有効な「多面的機能支払制度」の推進に努めること、「ため池サポートセンター」の取組み等、ハード・ソフトの両面から総合的なため池の防災・減災対策の推進に努めることについて要望した。



平井卓也衆議院議員に要望書を提出

第47回全国土地改良大会佐賀大会開催

水を利して 土を活かす さがで語ろう 郷里の未来



10月15日、佐賀県佐賀市のSAGAアリーナにおいて、第47回全国土地改良大会が開催された。この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会して、農業・農村の重要性とそれを支える農業農村整備事業の役割を広く国民にアピールし、国の礎である農業・農村をさらに発展させるとともに、永く次世代へ引き継いでいくことを目的に開催された。

今年は、「水を利して 土を活かす さがで語ろう 郷里の未来」をテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約4,500名が参加した。

式典は、開催地である佐賀県土地改良事業団体連合会の田島健一会长の大会旗入場・開会挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博全国土地改良事業団体連合会会长が挨拶された。続いて、山口祥義佐賀県知事及び坂井英隆佐賀市長から歓迎の挨拶があった。さらに、笹川博義農林水産副大臣及び宮原真一佐賀県議会議長、都道府県土地改良事業団体連合会会长会議顧問の進藤金日子参議院議員から祝辞が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣



佐賀県土地改良事業団体連合会
田島健一会长による開会挨拶



全国土地改良事業団体連合会
二階俊博会長による挨拶

表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名が受賞された。本県からは、香川県三郎池土地改良区の山田勉則理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された。

基調講演では、農林水産省の青山健治農村振興局次長から「次世代へ、希望をつなぐ土地改良」と題して講演があり、続いて、土地改良事業優良事例地区紹介があり、「白石地域の農業農村の将来に向けてー白石土地改良区の変遷ー」と題して、白石土地改良区の久原英之主事、江口功汰主事から説明があった。

引き続いて、鹿島市土地改良区の宮崎憲治理事長、佐賀東部土地改良区の中原忍管理課長、佐賀県土地改良事業団体連合会の土井楓技師が大会宣言を行った。

最後に、田島佐賀県土地改良事業団体連合会会长から二階全国土地改良事業団体連合会会长に、二階全土連会長から次期開催県である奈良県土地改良事業団体連合会の奥野信亮会長へと大会旗が引き継がれたあと奥野会長の挨拶があった。その後、佐賀水土里ネット女性の会の西田裕子会長、織田伊津子副会長の閉会の挨拶をもって、大会は盛会裏に閉会した。



全国土地改良事業団体連合会長表彰
受賞の山田勉則理事長（左）



山口祥義佐賀県知事による歓迎の言葉



笹川博義農林水産副大臣による祝辞



進藤金日子参議院議員による祝辞



青山健治農村振興局次長による基調講演

第2回監事会開催

12月12日、香川県土地改良事業団体連合会議室において、令和7年度第2回監事会を開催した。監事会は、監事3名出席のほか本会会長、常務理事の立会いのもとに中間監査が行われた。監査の結果、本会の予算執行状況並びに財務状況についていずれも適正に処理されているとの報告があり、全議案が承認された。

議案

- (1) 令和7年度中間監査実施計画について
- (2) 令和7年度予算執行状況及び財務状況報告について
- (3) 令和7年度一般会計収支補正予算について

第204回理事会開催

12月23日、香川用水記念会館1階多目的室において、第204回理事会を開催した。

冒頭、宮本欣貞会長から、10月の全国土地改良大会佐賀大会への出席のお礼、また11月の農業農村整備の集い及び予算要望活動等の実施について報告があった。その後、農業水利施設を将来にわたり保全するための取組や役割分担を明確にするための連携管理保全計画（水土里ビジョン）が制度化され、既に進んでいる地区もある。今後も土地改良区を中心とした水土里ビジョンの策定について支援を行っていくのでご協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

その後、桑原仁香川県農政水産部長からの来賓挨拶に引き続き、宮本会長が議長となり、下記の6議案が審議され、いずれも原案どおり承認され閉会した。

議案

- (1) 香川県土地改良事業団体連合会土地改良施設維持管理適正化事業資金拠出約款の一部改正について
- (2) 香川県土地改良事業団体連合会職員服務規程に基づく育児・介護休業等に関する規程一部改正の専決処分の承認について
- (3) 香川県土地改良事業団体連合会処務規程一部改正の専決処分の承認について
- (4) 香川県土地改良事業団体連合会工事入札代行業務規程制定の専決処分の承認について
- (5) 香川県土地改良事業団体連合会職員給与規程一部改正の専決処分の承認について
- (6) 令和7年度一般会計収支補正予算について



香川県土地改良事業団体連合会
宮本会長による挨拶



香川県農政水産部 桑原部長による挨拶

令和7年度土地改良区役職員研修会開催

11月21日、令和7年度土地改良区役職員研修会を高松商工会議所大ホールにおいて開催した。

この研修会は、土地改良推進事業の一環として、土地改良区の健全な運営と基盤の強化、並びに土地改良施設の管理が円滑に実施されることを目的に毎年開催しており、今年度は、「食料・農業・農村基本法」の改正に伴う土地改良法の改正等をはじめ、盛土規制法の概要や規制内容等のほか、水土里ビジョン後の県内土地改良区の運営など幅広い内容の研修会で、参加した土地改良区の役職員等123名は、熱心に耳を傾けていた。



中国四国農政局農村振興部土地改良管理課
石田土地改良指導官による講義



香川県農政水産部土地改良課
小松主任による講義



香川県農政水産部土地改良課
大西課長補佐による講義



日本政策金融公庫高松支店農林水産事業
融資課 神笠課長による講義



香川県農政水産部土地改良課
小比賀課長補佐による講義



香川県農政水産部農業経営課農地
マネジメント推進室 篠根室長による講義

研修科目	講師
土地改良法の改正等について	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 土地改良指導官 石田昭弘
盛土規制法の概要や規制内容等について	香川県土木部建築指導課開発・盛土規制室 副主幹 多田政樹
土地改良区の男女共同参画について	香川県農政水産部土地改良課 主任 小松奈美
ため池のソフト対策について	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 大西 忍
安心して共に暮らせる人権尊重社会 ～差別をなくし多様性を認め合う～	香川県総務部人権・同和政策課 参事 雨霧壽男
土地改良区の方に利用いただける 公庫資金のご紹介	日本政策金融公庫高松支店農林水産事業融資課 課長 神笠敬三
水土里ビジョン後の県内土地改良区の 運営について	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 小比賀英俊
地域計画の持続的な見直し (ブラッシュアップ)について	香川県農政水産部農業経営課農地マネジメント推進室 室長 篠根正浩

農業農村整備関係の令和7年度補正予算及び令和8年度予算の概算決定

12月26日、令和8年度政府予算案が閣議決定された。農林水産省の予算総額は対前年度比101.1%の22,956億円、このうち、農業農村整備事業予算は対前年度比101.0%の3,365億円となった。これに、令和7年度補正予算を加えると5,530億円（対前年度比166.0%）となる。

総括表（農林水産関係予算）

区分	7年度予算額	8年度概算決定額	7年度補正追加額
農林水産予算額 (対前年度比)	億円 22,706 —	億円 22,956 101.1%	億円 9,602
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,966 —	7,026 100.9%	4,290
一般公共事業費 (対前年度比)	6,786 —	6,846 100.9%	3,394
災害復旧等事業費 (対前年度比)	180 —	180 100.0%	896
2. 非公共事業費 (対前年度比)	15,741 —	15,931 101.2%	5,312

(注) 1 金額は関係ベース。

2 計数整理の結果、異動を生じることがある。

3 計数は、四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の概要

事項	令和7年度 当初予算額	令和8年度 概算決定額 A	令7年度 補正予算額 B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共) (対前年度比)	億円 3,331 —	億円 3,365 101.0%	億円 2,165	億円 5,530 166.0%
農業農村整備関連事業(非公共) (対前年度比)	548 —	554 101.2%	274	828 151.1%
農地耕作条件改善事業 大区画化等加速化支援事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農業生産基盤情報通信環境整備事業 農山漁村振興交付金	584 —	584 100.0%	—	584 100.0%
計 (対前年度比)	4,464 —	4,504 100.9%	2,439	6,942 155.5%

(注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

令和8年度概算決定の概要

令和8年度概算決定については、農業の持続的な発展・食料安全保障の強化・農村の振興のため、農業農村整備事業は3,365億円となるとともに農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業等と合わせて前年比100.9%の4,504億円となった。なお、これらに令和7年度補正予算2,439億円を加えると、対前年度比155.5%の6,942億円となる。

令和8年度概算決定 主要事業

○農業農村整備事業<公共>

農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化、農業水利施設の計画的な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進する。

○農地耕作条件改善事業

農地中間管理機構による農地の集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援する。

○大区画化等加速化支援事業

法人等の農業者が自ら施工することによる農地の大区画化等を支援する。

○農業水路等長寿命化・防災減災事業

農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能の安定的な發揮や、生産性の向上を図るなど、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援する。

○農山漁村地域整備交付金<公共>

地方が地域の自主性と創意工夫を活かしつつ実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援する。

○多面的機能支払交付金

農業の有する多面的機能の維持・発揮や地域全体で担い手を支えることを目的として、農業者等で構成される活動組織が行う地域資源を適切に保全管理するための共同活動を支援する。

○農業水利施設、ため池等の対策<公共>

農業用ダムの洪水調節機能の強化や田んぼダム等流域治水の取組を推進するほか、農業水利施設等の安定的な機能発揮、老朽化対策及び豪雨・地震対策、防災重点農業用ため池の防災工事等を推進する。

○海岸堤防等の対策<公共>

大規模地震が想定される地域等において、海岸堤防等の整備による津波・高潮対策、耐震対策、老朽化が進行した海岸保全施設の修繕・更新を支援する。

中讃管内土地改良事業研修会及び土地改良相談開催

10月9日、仲多度土地改良事業推進協議会並びに綾歌土地改良協議会主催による土地改良事業研修会が、坂出グランドホテルにおいて開催され、引き続き本会の土地改良相談を行った。

土地改良事業研修会では、香川県農政水産部土地改良課の小比賀英俊課長補佐から水土里ビジョンについて説明があったほか、下記の内容で研修が行われた。土地改良相談では、「多面的機能支払交付金の割り当て予算について」、「耕作放棄地における土地改良区経常賦課金の取扱いについて」等の相談が挙げられた。

研修会

- (1) 地域計画のブラッシュアップ・実行について

香川県中讃農業改良普及センター 主席普及員 西田美晴

- (2) 中讃管内の事業概要について

香川県中讃土地改良事務所 次長(兼)防災・監督主幹 河合博人

- (3) 水土里ビジョンについて

香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 小比賀英俊



仲多度土地改良事業推進協議会 栗田会長による挨拶



綾歌土地改良協議会 石井副会長による挨拶



香川県中讃土地改良事務所 木村所長による挨拶



香川県土地改良事業団体連合会 宮本会長による挨拶

大川地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談開催

10月24日、大川地区土地改良協議会主催による周知会が、さぬき市のじゃこ丸パーク津田において開催され、引き続き本会の土地改良相談を行った。

周知会では、香川県東讃土地改良事務所の増田浩城課長から単独県費補助土地改良事業の事務手続きについて説明があったほか、下記の内容で研修が行われた。土地改良相談では、「水土里ビジョンの作成について」、「電子入札の業者格付け選定について」等の相談が挙げられた。

周知会

- (1) 単独県費補助土地改良事業の事務手続きについて

香川県東讃土地改良事務所 指導課 課長 増田浩城

- (2) 土地改良区の適正な運営について

香川県東讃土地改良事務所 総務課 課長 大山博之

- (3) 地域計画策定の状況と今後の展開について

香川県東讃農業改良普及センター 主席普及員 吉原孝雄



大川地区土地改良協議会 大山会長による挨拶



香川県東讃土地改良事務所 亀井所長による挨拶



香川県土地改良事業団体連合会 宮本会長による挨拶



土地改良相談の状況

農業農村整備事業に関する予算説明会開催

10月21日、高松市のホテルパールガーデンにおいて、農林水産省による令和8年度概算要求の趣旨、農業・農村を巡る状況等の説明が行われ、国、県、土地改良区の役職員等約120名が出席した。

冒頭、中西滋樹農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室長、桑原仁香川県農政水産部長から開会の挨拶があった後、濱田秀徳農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室課長補佐による予算等に係る説明が行われた。

その後、県内の土地改良関係者の出席のもと意見交換会が行われ、県内の農業の発展、農村の整備についての課題克服に向けた活発な意見の交換が行われた。



農林水産省農村振興局整備部
中西滋樹計画調整室長による挨拶



予算説明会の様子

香川県管理運営体制強化委員会 第2回管理専門指導員会開催

12月24日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会を開催した。各土地改良事務所長をはじめ、専門指導員の出席のもと、令和8年度新規加入整備補修事業実施計画及び令和8年度新規加入防災減災機能等強化事業実施計画について協議を行った。

令和8年度の新規加入施設（50期生）は、整備補修事業で揚水機2ヶ所、頭首工2ヶ所、水路2ヶ所、防災減災機能等強化事業で排水機1ヶ所、ため池2ヶ所の合計9ヶ所であり、整備補修事業の実施予定年度については管理指導事業による診断結果等に基づき緊急度の高い順に決定した。

今後、令和7年度内に県、全土連、国と協議し、令和8年度から5年間で事業を実施していく。



香川県土地改良事業団体連合会
野瀬常務理事による挨拶



管理専門指導員会の様子

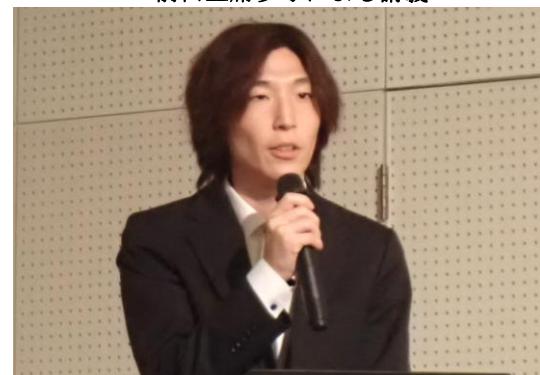
令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修開催

10月23日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修を開催した。本研修は、土地改良区体制強化事業の後を受け、令和7年度に制定された土地改良区機能強化支援事業の一環として実施するもので、土地改良区の運営基盤強化を推進するために必要な知識の習得を目的に開催しており、各土地改良区の役職員及び関係者を合わせ約130名の出席があった。

冒頭、本会の宮本欣貞会長より挨拶があり、その後、勝海匠全国土地改良事業団体連合会支援部主事、前田仁全国土地改良事業団体連合会上席参与より以下のとおり講義が行われた。受講者は、土地改良区が直面する現状と課題について認識を深めるとともに、「経営診断(収支分析、施設更新積立)について」の講義では、視点を変えて現状の把握と必要な積立等の対策を考え、土地改良区としての役割を再確認する機会となり受講者は終始真剣に耳を傾けていた。



研修会の様子

香川県土地改良事業団体連合会
宮本会長の挨拶全国土地改良事業団体連合会
前田上席参与による講義全国土地改良事業団体連合会
支援部 勝海主事による講義

研修科目	講師
土地改良区の会計経理について	全国土地改良事業団体連合会支援部 主事 勝海 匠
土地改良区の現状及び課題と対応について 土地改良区の業務と運営について	全国土地改良事業団体連合会 上席参与 前田 仁
経営診断（収支分析、施設更新積立）について	全国土地改良事業団体連合会支援部 主事 勝海 匠
地域関係者との連携について（水土里ビジョン）	全国土地改良事業団体連合会 上席参与 前田 仁
土地改良団体における男女共同参画について	全国土地改良事業団体連合会 上席参与 前田 仁

つながる、広がる、農業農村の力。男女共同参画推進大会inくまもと ～私たち、ひとりひとりが輝く水土里ネットの未来をつくろう～



福岡県みやま市農業委員会会長
山川地区土地改良区理事
徳永順子氏による基調講演

慣習の中から今日の活動に至るまでのお話は、女性目線で物事を見つめ、しなやかな心遣いによってみんなのやる気を呼び起こし、女性理事ならではの役割を担っていると感じた。
「誰かがしてくれるのを待つのではなく自分から動き出そう」という言葉に改めて自分は何ができるのかを考えさせられる講演であった。

現地研修では、平成28年の熊本地震から未だ崩れたままの石垣が残る熊本城。基盤整備した189haの農地が地震で波打ち、亀裂が入るなど大きな被害を受けた秋津飯野土地改良区



秋津飯野土地改良区
竹中事務局長の説明

11月4日、5日、熊本県において、男女共同参画推進大会 in くまもとが開催された。

福岡県みやま市農業委員会会長であり山川地区土地改良区の理事でもある徳永順子さんの基調講演では、“いつか誰かではなく 今こそ私たちが行動しなければ誰もやらない 何も変わらないことを認識しよう”をスローガンに、旧山川町の遊休農地解消のため「山川組」を立ち上げ勉強会や農地パトロールをスタートさせた。

懸案だった約40a の遊休農地を基盤整備し、黄からし菜を栽培。種から『和マスター』を完成させたことなど、主婦であり古い



推進大会の様子

管内では、米が作れなくなったため、農家・行政・JA 等みんなの協力で「秋津地区未来創造プロジェクト会議」が運営され、大豆の作付けから始め、水田ができるようになるまで5年の歳月をかけ復興できた貴重なお話を竹中事務局長から伺った。

意見交換会では、秋田県の切実な熊被害、土地改良区の運営や女性理事登用等の課題に一人ひとりがその時々に起きている問題解決のため、今できることを真剣に考え向き合っていることを知ることができた。“男女共同参画”の一歩として各々ができることから始めることが大切だと感じた大会であった。

(寄稿：かがわ水土里ネット女性の会副会長 大林百合子)

かがわ水土里ネット女性の会研修会開催

12月8日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、かがわ水土里ネット女性の会研修会が開催された。

本会では、会員相互の情報交換を通じて農業農村整備事業並びに土地改良区の円滑な業務推進を図ることを目的に研修会や情報交換会の開催、講演会等への参加を行っている。

今回の研修会は、会員等57名の参加のもと内橋翔公認会計士の「土地改良区に関する会計業務及び相続に伴う諸問題」についてのほか、香川県土地改良事業団体連合会中村正樹会員支援課長の「土地改良工事における施工管理等について」を実技研修も交え実施した後、グループに分かれて意見交換を行った。

その後、「てまえ味噌づくり」、「多肉植物の寄せ植え」の2種類のワークショップを同時に開催した。意見交換だけでなく、これらの体験を通じて顔見知りになることにより、情報交換や相談しやすい関係性を築くことができ良かったという意見を頂き、実りのある研修となった。



てまえ味噌づくり
参加者



実技研修の様子



多肉植物の寄せ植え
参加者



土地改良換地士資格試験合格

10月19日に実施された令和7年度の土地改良換地士資格試験の合格発表があり、本会から次の1名が合格しました。

香川県土地改良事業団体連合会 事業課 技師 藤川 亮輔

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
10月9日	中讃管内土地改良事業研修会及び土地改良相談	坂出市
10月15日	第47回全国土地改良大会佐賀大会	佐賀県
10月21日	農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会	高松市
10月23日	令和7年度統合整備推進研修（会計研修）	丸亀市
10月23日	ため池フォーラム in ひろしま	広島県
10月24日	大川地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談	さぬき市
11月4日 ～5日	男女共同参画推進大会 in くまもと	熊本県
11月13日	令和7年度土地改良施設の整備補修事例検討会	徳島県
11月21日	令和7年度土地改良区役職員研修会	高松市
11月26日	農業農村整備の集い	東京都
12月8日	かがわ水土里ネット女性の会研修	丸亀市
12月12日	本会令和7年度第2回監事会	高松市
12月19日	令和7年度管内各県耕地関係課長・各県土地改良事業団体連合会事務責任者合同会議（第2回）	岡山県
12月24日	本会第204回理事会	高松市
12月24日	香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会	高松市

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

香川県土地改良事業団体連合会

香川県内場池土地改良区理事長

香川県三豊市三野町土地改良区理事

学識経験者

七八

全県域

まんのう町長

琴平町土地改良区理事長

坂出市江尻土地改良区理事長

白鳥土地改良區理事長

香川県三郎也土地改良区理事

香川県三朗池土地改良区理事長

小豆島町土地改良区理事長

舟岡池土地改良区理事
高公市農業委員

高松市農業委員
香川県農業協同組合經營管理委員
女性農業士

三 情 告 二

丸亀市綾歌町土地改良区理事

高松市鶴尾土地改良区理事長

外職員一同